

2017/7/22 夢ナビライブ東京会場

賢く美しい女性の生き方 7つのポイント

恵泉女学園大学 学長
大日向雅美

女性活躍の時代を生きるには知性と強さが必要！でも、可愛らしさも捨てがたい？！
賢く美しい女性の生き方を女性心理やジェンダーの観点からご一緒に考えましょう

1 知っていますか？ 日本女性が置かれている現状

世界 144 カ国の中で 111 位！

昨年、開催された世界経済フォーラムで発表されたジェンダーギャップ指数*

*各国における男女格差を測る指数（経済・教育・政治・保健の4分野のデータ）

保健 40 位 教育 76 位 政治 103 位 経済 118 位

2 女性の社会進出を阻んでいる壁は？

➤ 旧態依然とした男性中心社会の制度・慣習・人々の意識？

➤ それもあるでしょう…。でも、最も大きな壁は？

女性たちが無意識のうちに心の中に秘めている第3の動機（成功回避動機）

M. Horner (1968) の研究

3 アイドルグループが歌う“アインシュタインよりもディアナ アグロン” (2016)

➤ この歌に込められた成功回避動機とその問題性とは…

➤ 今から約半世紀前の心理学の研究で明らかにされた女性特有の心理は今も？

➤ いえ、成功回避動機を軽やかに乗り越えた現代女子大生たち！

可愛らしさも捨てない！

でも可愛らしさだけではない。知性も強さも女性の魅力！！

<http://www.keisen.ac.jp/blog/president/2016/05/post-4.html>

4 女性活躍推進の時代を迎えた今だからこそ、女性は凛として、美しく！！

➤ そのための7つのポイント

➤ 7つのポイントは、換言すれば“生涯就業力”*

*社会人基礎力+努力に裏づけられた自尊心

女性の人生は一直線ではありません！ だからこそその“生涯就業力”です
何があっても、どこにあっても、しなやかに 強（したた）かに
生涯にわたって、自分らしく生きる希望を持ち、目標を探し続けよう
あなた自身のために 身近な大切な人を愛するために 地域と社会のために
<http://www.keisen.ac.jp/evolution/>

女子高校生の皆様へ（プロフィールに代えて）

私の専門は心理学です。女性のライフデザインを発達心理学・ジェンダー論の立場から研究しています。きっかけは1970年代初めに頻発した母親たちの育児不安・育児ストレス現象でした。皆さんのお母様が生まれた頃でしょうか。

母親たちはなぜ育児に困難を覚え、ときに挫折してしまうのか、全国調査を繰り返し、6000名余りの女性たちの声を聴き続けました。母となることは女性の喜び。

でも母として以外の生き方が認められない虚しさと辛さ。女性の高学歴化に伴って社会参加の機運も芽生え始めていた当時、従来の母性観の枠に収まりきれない女性たちの苦しみの声に接して、女性が自分らしく生きる大切さを痛感しました。

以来、女性が仕事や結婚、子育て等に心豊かに関わられるよう、子育て支援や社会保障改革など国や自治体の施策立案にも携わってきました。女性が生きやすい時代に向けて制度は整いつつあります。残されている課題は真に女性の人生を大切にしようとする人々の意識、とりわけ女性自身の意識です。なにがあっても どこにあっても しなやかに 強か（したたか）に自分らしく生きる。それが自分のためはもちろん、身近な大切な人や地域・社会に尽くす喜びとなります。恵泉女学園大学に勤務して28年、女子教育に携わってきた者の実感です。

女子高校生の皆さんには、この先、長い時間と可能性があります。

どうかご自分の未来を、ご自分の手で、しっかり切り開いてください。